

「熱海移住・交流促進プロジェクト」スタート。第1弾は・・・ 移住促進WEBサイト『熱海時間』5月17日公開！

静岡県熱海市（熱海市長 齊藤 栄）は、人口減少に歯止めをかけることを最重要課題の一つととらえ、「熱海移住・交流促進」プロジェクトをスタートさせます。

その第一弾として熱海で暮らす魅力を首都圏に向けて情報発信するための新WEBサイト『熱海時間』を5月17日より公開します。

URL: <http://www.city.atami.shizuoka.jp/atamijikan/>

熱海時間

検索

サイトコンセプトは「熱海という選択」

熱海で暮らす魅力とライフスタイルを情報発信し、熱海に住むという選択肢を提案します。

実際に首都圏から移住された方が語る熱海の魅力は旅行雑誌には載っていないものばかり。

熱海に暮らし首都圏へ通勤・通学している方が語る「ONとOFF」の魅力など、彼らが語る生の声や、熱海に暮らす方が語るお気に入りなど、これらの魅力をツールとして、「営業する市役所」として市外に向けて積極的に情報発信し、熱海に移住される方や熱海ファンを獲得していきます。



なぜ、今、熱海は移住に力を入れるのか？

熱海市の人口は昭和40年の54,540人（国勢調査）をピークに減少に転じ、平成22年の国勢調査では、4万人を下回りました。本市の人口減少は主に少子高齢化による自然減少

（死亡者数＞出生者数）が要因です。また、年代別の転入出数を見ると、20代30代の若年齢層では転出超過であり、これが本市の高齢化率を更に高めている要因の一つでもあります。

熱海市は人口は減少しているものの、社会動態（転入者数、転出者数）では、社会増加（転入者数＞転出者数）の傾向にあります。別添データにも示すとおり、首都圏と密接な関係をもつ街でもあります。

定住人口の減少は、市の財政や市内経済への影響が懸念され、まち全体の活力が失われることも心配されるため、人口減少に歯止めをかけることが最重要課題の一つであるととらえ、「熱海移住・交流促進」プロジェクトをスタートさせることとしました。

「熱海移住・交流促進」プロジェクトの今後の展開

今後は観光のみならず、本市で暮らす魅力を訴求するための首都圏メディアへのPRや市内不動産関係と連携した情報提供、PRイベント等も実施していく予定です。

また、別荘等所有者の方が本市への来訪頻度を高め、活発な経済活動をしていただくための基礎資料として、別荘等所有者へのアンケート調査を実施します。

【お問い合わせ先】 熱海市総務部総合政策推進室

メール: sogoseisaku@city.atami.shizuoka.jp

電話: 0557-86-6050 / FAX: 0557-86-6041

移住促進WEBサイト『熱海時間』主要コンテンツ

熱海市への移住促進サイトである『熱海時間(<http://www.city.atami.shizuoka.jp/atamijikan/>)』の主要コンテンツは以下3点になります。

コンテンツ その1

熱海フォトアルバム

熱海の暮らしの中にある風景を月ごとに閲覧できます。

▼ページのヘッダー部が「熱海フォトアルバム」になっています。



▲サムネイルにマウスを合わせると、月ごとの熱海の代表的な見どころの写真に切り替わります。また、地図にポイントされている4つのサムネイル画像をクリックすると、その時期のおすすめスポットがコメント付きで閲覧できます。

コンテンツ その2

熱海移住者8組に聞いた「熱海という選択」

熱海に住むという選択をした、移住者8組に、熱海の魅力、移住の決め手、熱海でのライフスタイルなどについて、奇譚なく語っていただきました。

▼インタビュー記事の例



熱海歴6年 いつでも一緒に仲良し夫婦

神奈川の横須賀を離れて熱海で結婚！
観光地で暮らすメリットとは？



熱海歴4年 東京と熱海で活躍 女性デザイナー

プチリゾートとして、楽しみながら生活できる街なので
オススメです。クリエイターやデザイナーが刺激を受ける街

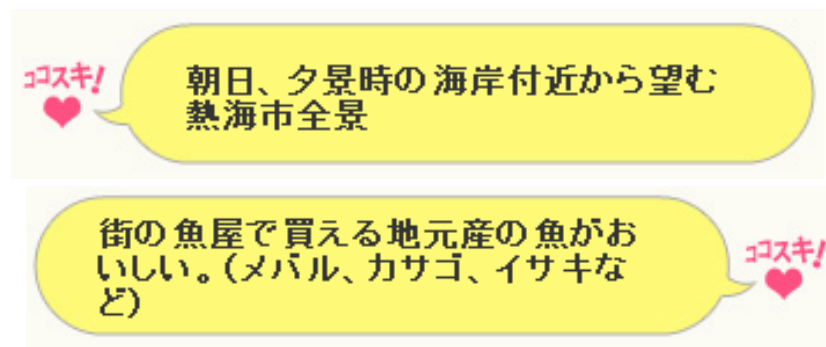


▲ページイメージ8組分のインタビューを掲載しています。

コンテンツ その3

熱海に暮らす人のココスキ365

実際に熱海に暮らす人の「自分の熱海のお気に入りポイント」を集めました。



▲ページイメージ300件以上の熱海に暮らす人々の声を集めました。

参考資料

実は熱海は首都圏と密接に関係していることを示す参考データです。

データ1 別荘が約1万件。大半が東京都や神奈川県に居住

現在、別荘の数は約1万件にのぼり、その多くは東京都や神奈川県など首都圏にお住まいの方が所有されています。

また、本市の就業状況を国勢調査（平成17年）でみると、市域外への通勤などによる流出3,945人のうち、その半数以上が東京や神奈川などへの通勤であり、東京都への通勤者は509人となっています。

このように、本市は首都圏と密接な関係を持つ街であり、**移住地としても注目され始めています。**



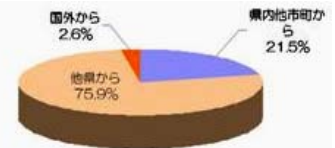
別荘等所有税納税者の内訳
(出展：熱海市市税の概要)

データ2 転入人口に占める他県から転入割合は静岡県内第1位

平成22年の国勢調査による前回の調査時（平成17年）からの移動状況では、本市の総人口に占める転入人口の割合は約15.3%と高く、静岡県35市町中6番目。

しかも、転入人口のうち「他県から」の転入割合は75.9%。

静岡県の市町で最も高い割合となっています。



転入人口の内訳
(出展：平成22年国勢調査)